

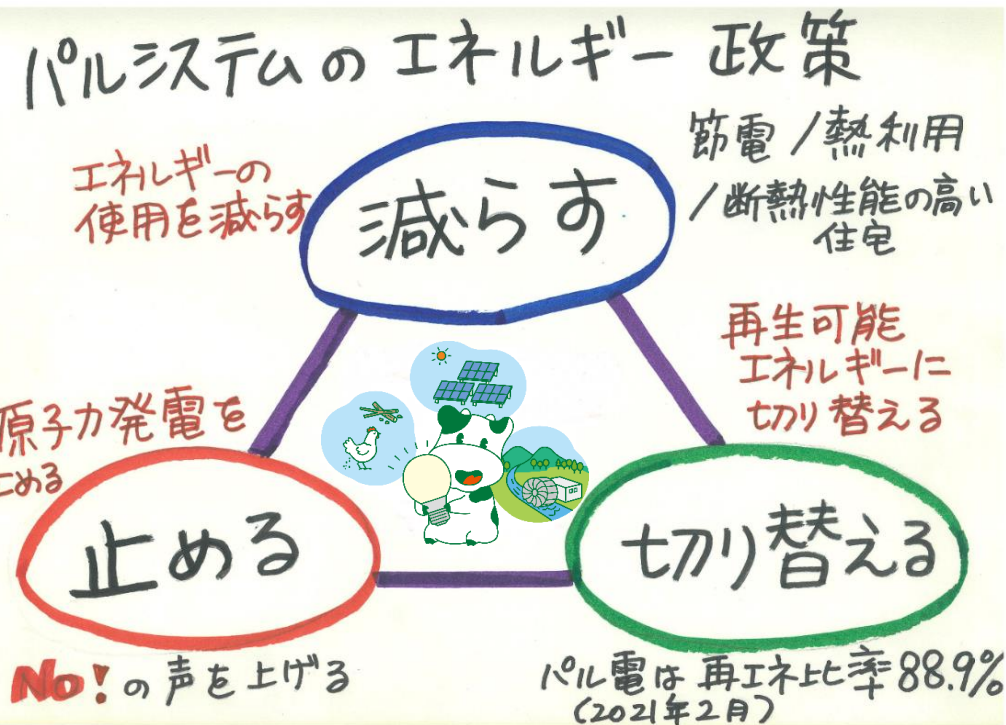
環境通信 Vol.1

メンバーから一言

課題推進チーム 環境「エネルギーについて考える」とは!?

パルシステム山梨の「組合員」「理事」「職員」が、環境について情報収集し、発信する活動をしているチームです。

東日本大震災から 10 年が経ちましたが、原子力発電所事故による被害は消えていません。本チームは、2021 年度推進課題を「エネルギーについて考えよう」と定め、脱原子力発電、再生可能エネルギー普及など資源循環型社会の実現に向け、一人ひとりの暮らしを「きりかえる」きっかけとなることを目標に取り組んでいます。



〈今後の活動予定紹介〉

スイッチを入れると当たり前のように電化製品が使える毎日！食べ物と違って匂いも味もしないから普段は意識しにくいけれど、2016 年からは「どんな方法で発電したか」を判断して電気を選べる時代になっています。

毎日使う電気だからこそ、子どもたちが大人に、そしてその子どもたちが大人になった時にも、住みやすい豊かな地球環境であることを願い選んでほしい。そんなことを考えるきっかけになるような情報発信やイベントを企画していきたいと考えています。

〈組合員メンバー I.K〉

チェルノブイリ原発事故で、原発の怖さを知り、3.11 の大震災でその怖さは現実的な身近なものになってしまいました。廃炉の問題はもとより、土壤汚染のその後、汚染水処理、癌との関連など、課題は山積みです。また、日本でも 2050 年まで温室効果ガス排出をゼロにする宣言をしました。脱炭素を実現するためにも、再生可能エネルギーの普及は必須です。福島での再生可能エネルギーも含めてエネルギーの色々な事をお伝えできればと思っています。

〈組合員メンバー K.N〉

以前より温暖化に伴う環境問題に関心があり、今年は東日本大震災から 10 年という節目の年、何か出来ることはないかな…と置いていたところ、今年は課題推進にてエネルギーについての取り組みをされるということで、今回参加させていただくことにしました。課題推進チームを通じて 1 人では気づけなかった新たな気づきや取り組みが見えてくることを期待し、楽しみながら参加したいと思っています。

〈理事メンバー K.K〉

状況によっては、再生可能エネルギーにも課題があります。だからこそ、パルシステムのエネルギー政策はよく考えられていると思います。電気の産直という発想にも共感！ 多くの人にお知らせしたいです。

〈理事メンバー K.Y〉

私自身、環境の分野に取り組むのは初めてで色々なことが勉強であります。発電所等の内部学習をして発電所の種類もさることながら沢山の産地があることに驚きました。発電の取り組みにも環境の配慮があり課題推進環境チームとして取り組むべきことをしっかり学習し、皆さんに発信していこうと思います。

〈理事メンバー K.M〉

今年理事になり課題推進「環境」チームメンバーとなりました。広瀬隆さんの「危険な話」を読んで愕然とした過去を思い出します。そして福島原発事故が起きてしまいました。水を飲むことさえ恐ろしかった、もうあんな思いはしたくありません。原発に頼らない社会、どのように実現できるでしょうか。

〈職員メンバー O.H〉

東日本大震災ー原発事故ー計画停電から節電の夏・・・あれから 10 年経ちました。そして今、将来を見据えた温暖化防止・エネルギーのあり方・私たちの向き合い方が問われています。日々の暮らしであわただしい中、少し立ち止まって、一緒に考えるきっかけを見つけられたら・・・と思います。

〈職員メンバー N.S〉

最近、気候が変化してきていると感じる方も多いのではないのでしょうか。頻りに発生するゲリラ雷雨や線状降水帯による大雨、台風も大型化し、地球温暖化の影響がとんとんに見えるようになってきています。いま私たち出来ることはなんだろう？そんな疑問について学び、お伝えで出来ればと思っています。